

’06キッチンにおける『油』の存在
「有職主婦」と「専業主婦」を比較

調査背景

1985年から2005年までの間に、専業主婦世帯は49.3%から40.8%に減少しているのに対して、妻就業世帯は49.4%から57.2%へと増加している（図1）。

未婚女性（18～34歳）が理想とするライフコースは、1987年から2005年までの間に「専業主婦」を理想とする割合が減少し、「両立（継続就業）」と「再就職」を理想とする割合の合計は増加しており、結婚・出産に関わらず就業を希望する女性は増えている（図2）。

また、2003年には少子化対策基本法が施行され、仕事と家庭・子育ての両立を促進するため、官民一体となった子育て支援推進運動が行われている。

以上の点から、結婚後も職を持つ女性（有職主婦）の割合は、これからも増えると予想されることから、「有職主婦」と「専業主婦」の食用油の使い方、家事の実態の違いを調査した。



図1 既婚世帯の働き方

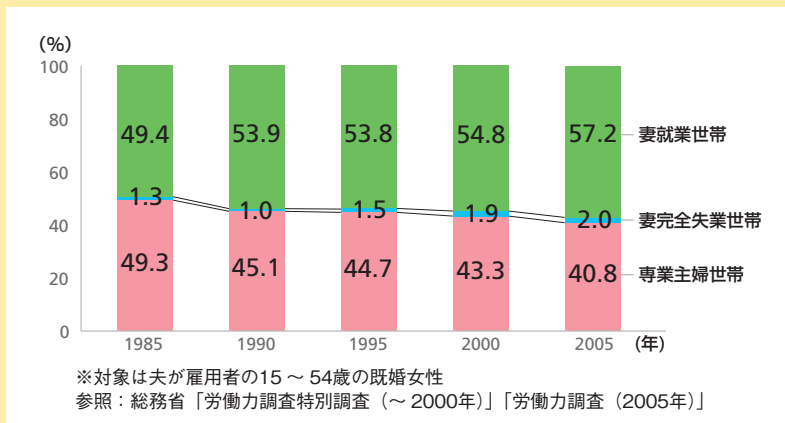
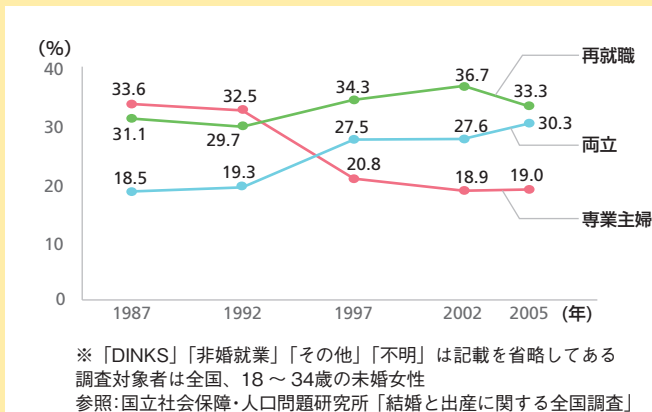


図2 未婚女性の理想とするライフコースの推移



目次

食用油の購入について	2
食用油を使用した調理について	4
調理後の洗浄・掃除について	6
お惣菜の購入について	7
「有職主婦」と「専業主婦」の特徴・傾向	8
まとめ	8

食用油の購入について

食用油は
大きな容量で
まとめ買い！
(有職主婦)



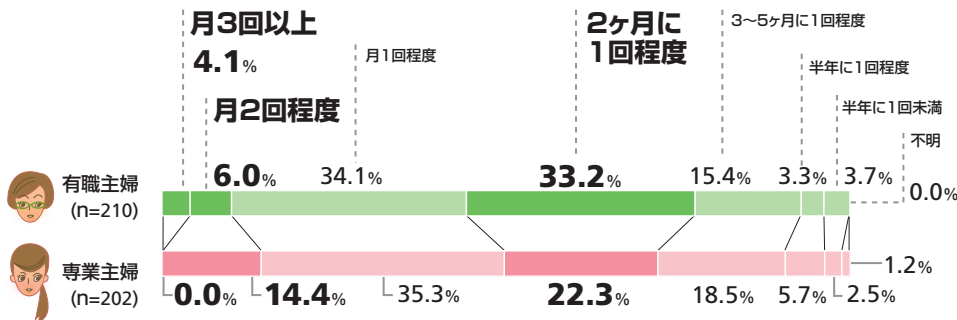
一般食用油*の購入頻度は、有職主婦は専業主婦に比べ2ヶ月に1回程度購入する割合が高く、月に2回以上購入する割合が低い。一般食用油の購入容器容量は、有職主婦では専業主婦に比べて500g未満の割合が少なく、1000g以上の割合が高い。未開封食用油のストック本数については、有職主婦では2本未満である割合が少ない。

購入頻度と購入容器容量、ストック本数をあわせて考察すると、一般食用油について、有職主婦は比較的大きな容量の食用油をまとめ買いして、家庭内で保存していることがうかがえる。

※ここでの一般食用油とは：
サラダ油、キャノーラ油、べ
に花油、コーン油、健康オイ
ル（特定保健用食品以外）
のことを指す

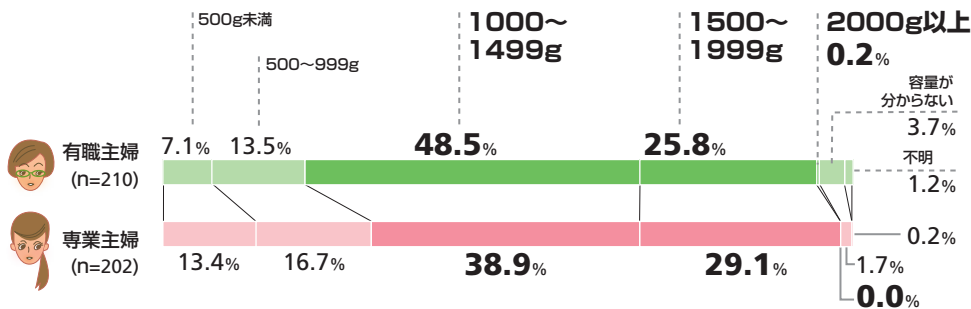
一般食用油の購入頻度

一般食用油
自購入者

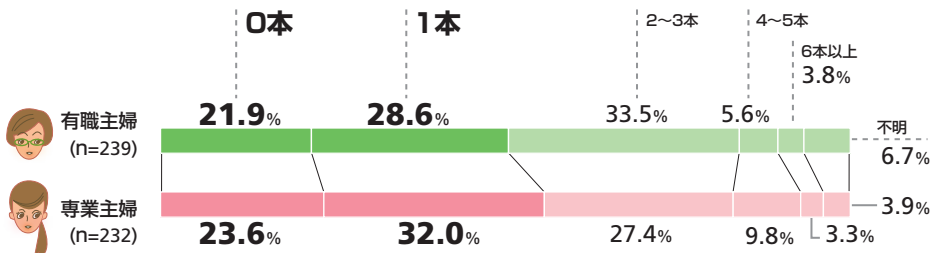


一般食用油の最多購入容器容量

一般食用油
自購入者



未開封食用油のストック本数



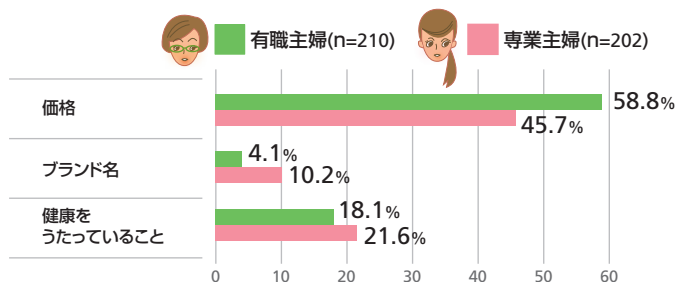
食用油の種類によって
購入重視ポイントを変更。
健康オイルは、
今後もっと使用したい！
(有職主婦)



有職主婦は専業主婦に比べ食用油購入時の最重視ポイントを、一般食用油では「価格」、健康オイル(特定保健用食品)では「健康訴求」(「健康をうたっていること」「特定保健用食品のマークがついていること」)、ごま油では「香り」、オリーブ油は「原料」「産地」「香り」とする割合が高く、食用油の特性にあわせて選択している。一方、専業主婦は一貫して「価格」「ブランド名」を購入時に重視する傾向がある。健康オイルを「多く使用したい」と思う傾向は、有職主婦の方が強く表れている。手軽に健康的な食生活に貢献できる健康オイルは、家事以外にも仕事を持つ主婦にとって魅力的であることが推察できる。

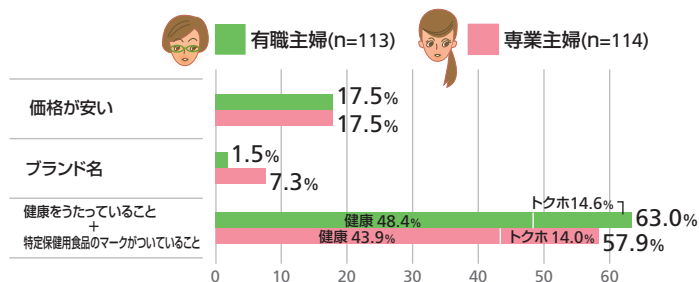
一般食用油の購入時最重視ポイント

一般食用油
自購入者



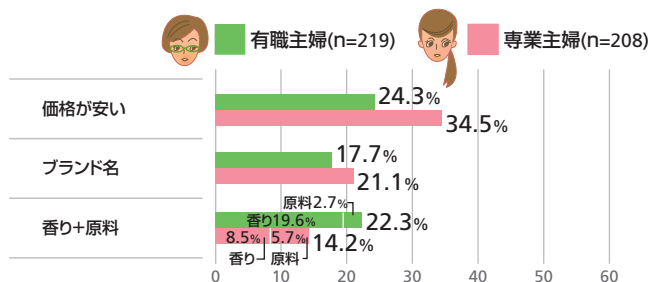
健康オイル(特保)の購入時最重視ポイント

健康オイル(特保)
自購入者



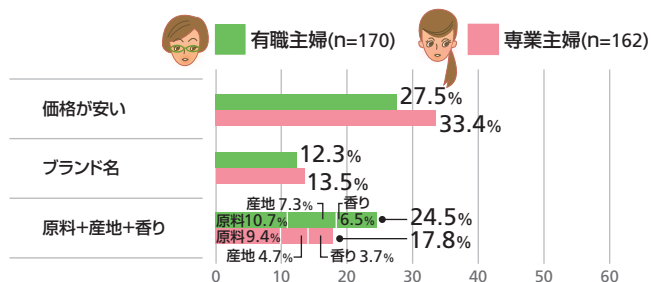
ごま油の購入時最重視ポイント

ごま油
自購入者



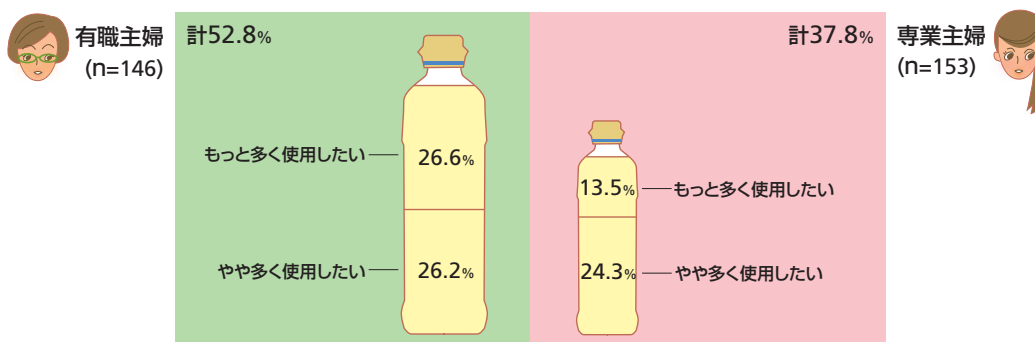
オリーブ油の購入時最重視ポイント

オリーブ油
自購入者



健康オイル(特保)の今後の使用意向

健康オイル(特保)
使用者



食用油を使用した調理について

積極的に
新しい調理法を
試してみたい！
(専業主婦)

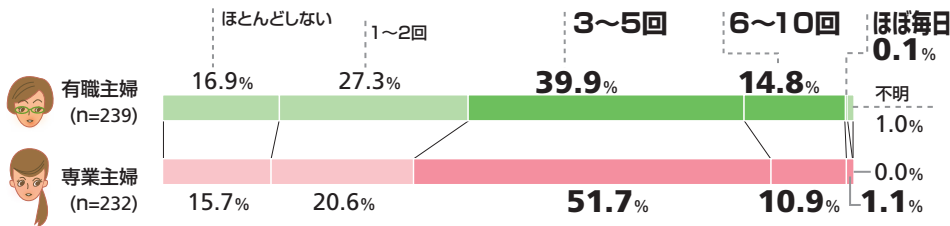


1ヶ月に夕食で揚げ物をする頻度は、専業主婦のほうが有職主婦よりも高い傾向がある。夕食で炒め物をする頻度は週平均2.6回で、有職主婦と専業主婦に大きな差は認められなかった。一度の炒め物での食用油の使用量は、有職主婦の方が多い。これは、有職主婦は大きな容量の食用油を購入することから、一度に多くの油を使用する傾向が表れるためだと考えられる。また、有職主婦の方がまとめて大量の炒め物をすることや、短時間で炒め物を完成させるために多くの油を使用して火の通りを良くしていることも推察できる。

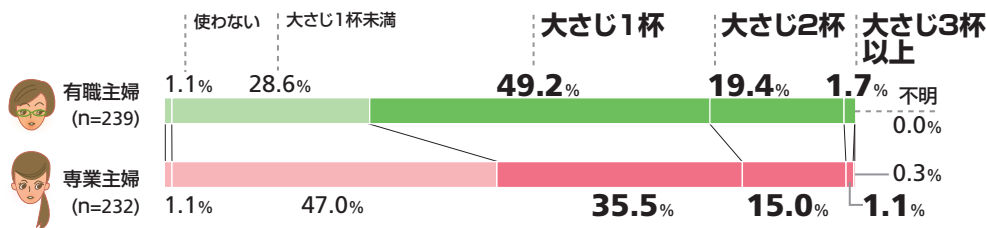
新しい調理法である揚げ物風調理*について知っているかどうかを聞いたところ、全体の55.5%が認知していた。この中で、専業主婦には「調理してみたい」と感じている人が多く、新しい調理方法を積極的に試してみたいという、調理に対する関心の高さが感じられる。一方で、時間に追われる有職主婦には、揚げ物風調理は調理過程が多く手間がかかりそうだとされているのかもしれない。

※揚げ物風調理とは：食用油で揚げずに、材料に少量の油やパン粉をまぶし、オーブンや電子レンジを使用して、フライ、から揚げなどの揚げ物メニューを作る新しい調理法

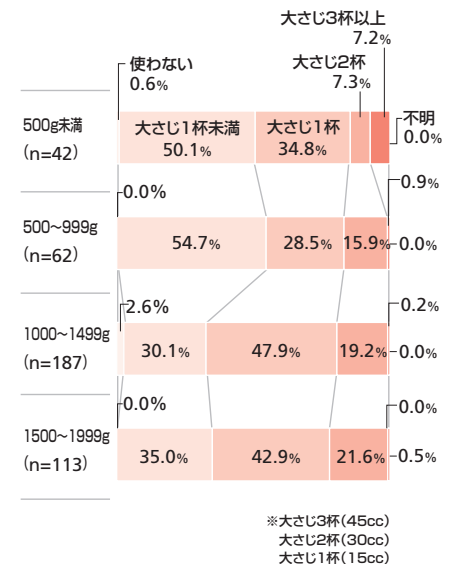
夕食での揚げ物月調理頻度



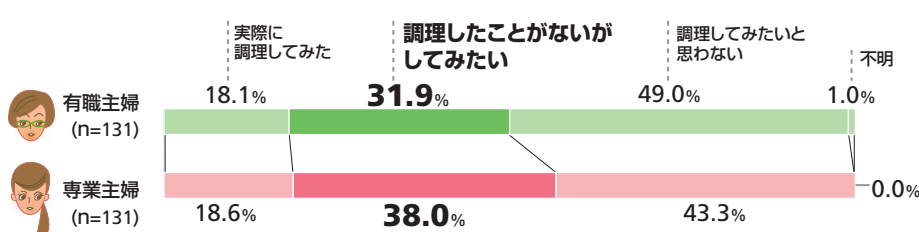
一度の炒め物に使用する食用油の量



一度の炒め物に使用する食用油の量と購入容器容量



揚げ物風調理の調理意向



一食の品数が
少なくてすむ
「カレーライス、丼ものなど」
をよく作ります！
(有職主婦)

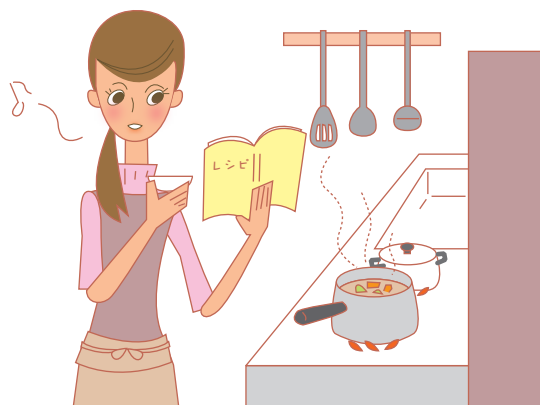
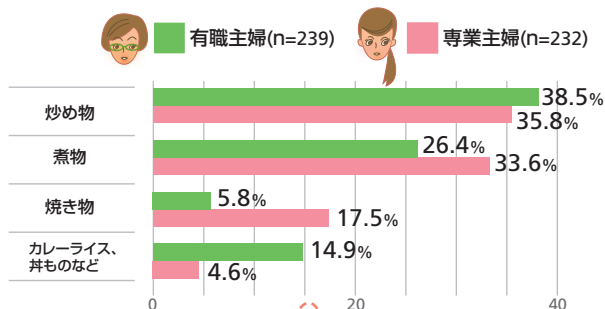


最もよく作る料理の割合は、全体では「炒め物」ついで「煮物」が高かった。有職主婦では、専業主婦に比べ「カレーライス、丼ものなど」の割合が高く、「煮物」「焼き物」の割合が低い傾向にあり、その料理をよく作るのは「調理が簡単だから」との理由が45.2%と最も高かった。

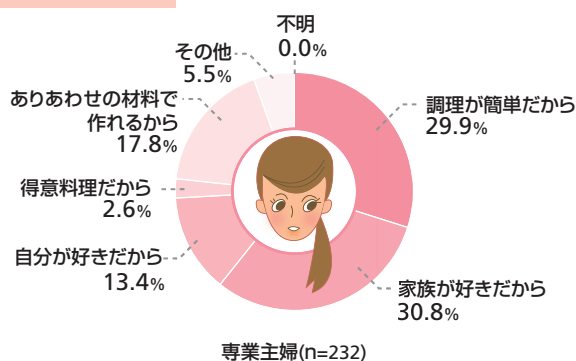
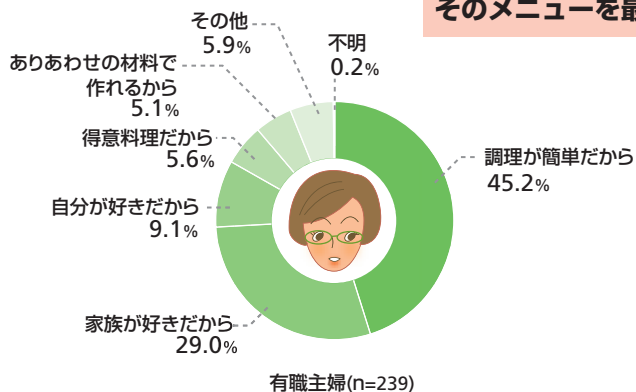
「カレーライス、丼ものなど」は一品で一食となることから、食事作りを手軽にすませたい有職主婦の人気メニューになるであろう。一方、「焼き物」はグリルを使用することが多いため、使用後の掃除に対する負担感から調理を遠ざけられていることが考えられる。

『食事作り』が「好き」である割合は、専業主婦の方が高かった。『食事作り』に対する関心の高さや、割ける時間の余裕などが、このような気持ちを導き出しているのかもしれない。

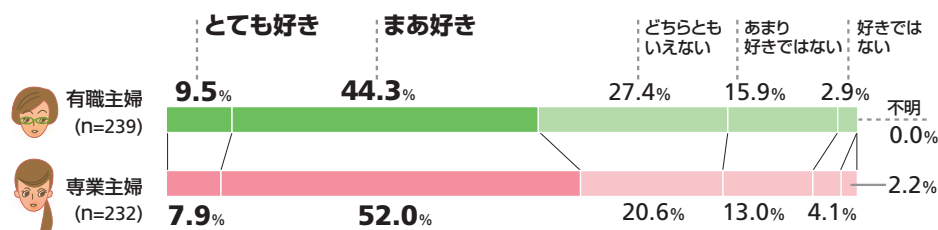
最もよく作る料理



そのメニューを最もよく作る理由



食事を作ることに対する気持ち



調理後の洗浄・掃除について

調理後の片付けに
役立つ
情報が欲しい！
(有職主婦)



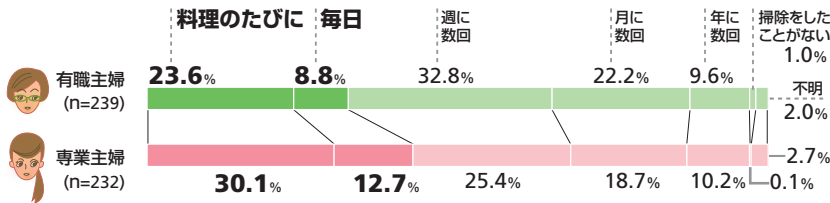
ガスレンジ（IHクッキングヒーター含む）の掃除頻度は、有職主婦は専業主婦に比べ少ない傾向がある。

食器洗い機を日常的に使用している割合は、有職主婦の方が専業主婦よりも高い傾向にある。油污れは手洗いでは負担に感じられる傾向があるが、食器洗い機を使用した洗浄で落ちにくい汚れの上位にはあがらなかった。

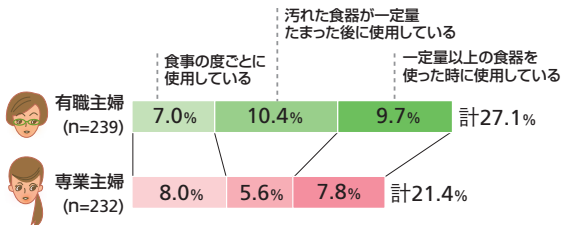
また、食用油に関する情報・知識として最も欲しいものについて聞いたところ、有職主婦では、専業主婦に比べ「汚れの落とし方」「保存方法」など、調理に関わることよりも、調理後の片付けに関する事項をあげる人が多かった。

これらの傾向から、有職主婦は専業主婦よりも、調理後の片付けをなるべく簡単に済ませたい、と思う気持ちが強いと推察される。

ガスレンジ（IHクッキングヒーター含む）の掃除頻度



食器洗い機の使用状況



食器洗い機で落ちにくい汚れ

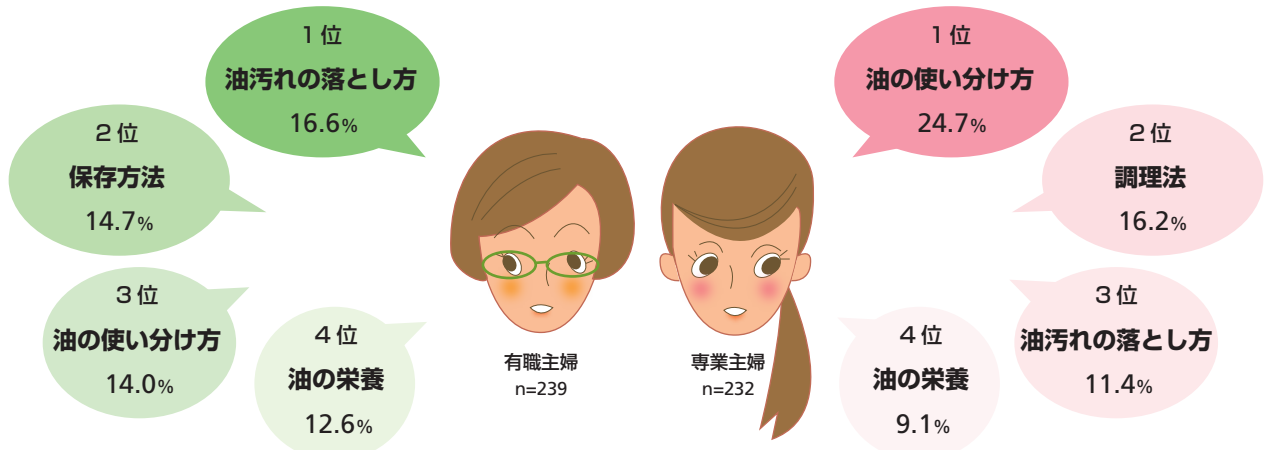
食器洗い機使用の際「汚れが落ちきらない」との不満がある人

(複数回答)

(n=63)

1位	ご飯	49.9%
2位	グラタンの焼きつき	44.2%
3位	食器・調理器具のすみの汚れ	34.5%
4位	茶しぶ	34.4%
5位	卵料理のこびりつき	32.5%
6位	油污れ	25.8%
7位	口紅	25.2%

食用油に関する情報・知識として最も欲しいもの



お惣菜の購入について

揚げ物惣菜は
ポジティブな理由で
購入してます!
(有職主婦)



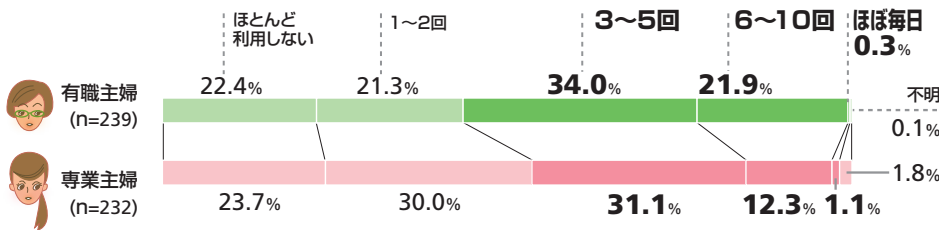
お惣菜の購入頻度は、有職主婦の方が専業主婦より高い傾向にある。揚げ物惣菜の購入頻度は、有職主婦と専業主婦のどちらも月平均2.1回で両者に差は見られなかったが、97年から06年にかけて増加傾向にある。

揚げ物惣菜の購入のきっかけは、専業主婦では「時間がなかった」「作るのが面倒だった」などが多くあげられたが、有職主婦では「おいしそうだった」「食べたかった」等ポジティブな理由が多い傾向があった。有職主婦と専業主婦の揚げ物惣菜購入頻度に差は見られなかったが、購入する時の気持ちに違いが見られた。

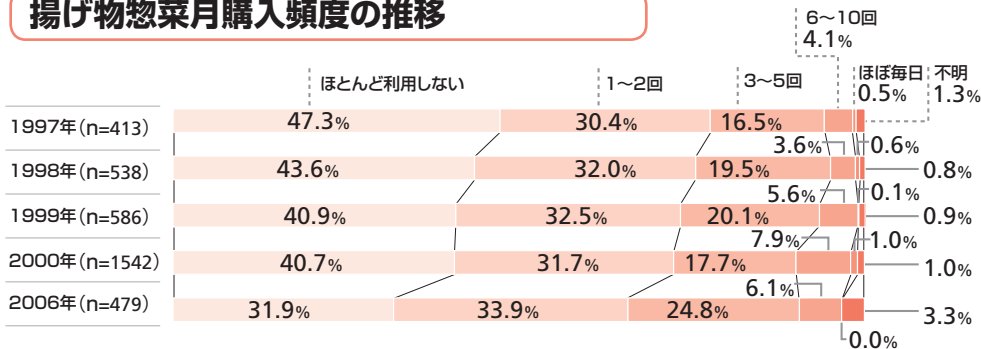
揚げ物惣菜を「ほとんど利用しない」人は、約30%で有職主婦と専業主婦に差は見られなかった。有職主婦で揚げ物惣菜を利用しない人は、「自分自身で揚げるのが苦にならないから」「揚げたてがおいしいから」を理由とする人が多い。自分で揚げ物を調理することに対する負担感が少ないことが推察される。

専業主婦では「揚げたてがおいしいから」を理由としている人が60%近くもおり、『手作り』を重視する気持ちが感じられる。

お惣菜の月購入頻度

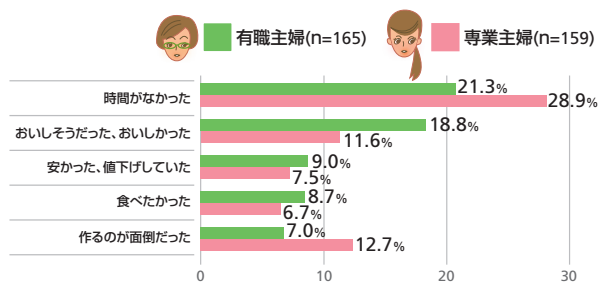


揚げ物惣菜月購入頻度の推移



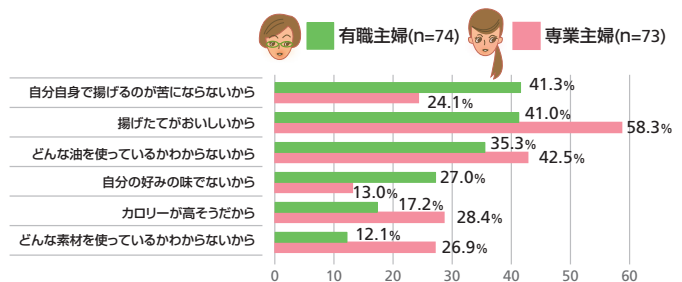
揚げ物惣菜を購入するきっかけ

(自由回答)



揚げ物惣菜をほとんど利用しない理由

(複数回答)



「有職主婦」と「専業主婦」の特徴・傾向

	有職主婦	専業主婦
購 入	<ul style="list-style-type: none"> ・食用油は大容量をまとめ買いする。 ・食用油の特性に合わせて柔軟に選択基準を変え、購入している。 ・健康オイルの使用意向が高いなど、健康意識は高い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・購入スタイル（容器容量・頻度）は分散し、各々のライフスタイルによって分かれており、一貫した共通点はない。 ・「ブランド」「価格」を一貫して重視。
家 事	<ul style="list-style-type: none"> ・時間的効率を重視し、そのための情報収集は行う。調理メニューは簡単であることを理由に選ぶ割合が多く、食器洗い機の使用率が高い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・調理に対する関心が旺盛であり、調理に関する情報は収集し、取り入れ、工夫する姿勢が見受けられる。 ・掃除はこまめに行う傾向。
お惣菜購入	<ul style="list-style-type: none"> ・「おいしそう」という理由で購入するなど、お惣菜ライフをポジティブに楽しむ姿勢が見受けられる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分で調理できないとき、調理することを避けたいときに利用するもの、という存在。

まとめ

今回の「06キッチンにおける『油』の存在」での有職主婦と専業主婦を比較した調査を通じて、生活科学研究室では、有職主婦が増えていく今後の「食用油の使われ方」について以下のような予測をした。

- ・食用油は、価格やブランドだけでなく、油の種類・特性にポイントを置いて選択をする人が増えることから、「油」に関する情報発信が益々求められるようになる。
- ・家事には、調理後の洗浄・後片付けに一層簡便さが求められることから、食器洗い機は今後も普及していく。手洗いでは負担感が高かった食器の油汚れを、食器洗い機では簡単に洗浄できるようになることから、揚げ物・炒め物など食用油を多く使用する調理への抵抗感も軽減されるかもしれない。
- ・揚げ物惣菜を利用する人は、「時間のないときに利用する」よりも、「おいしそうだったから」などと、よりポジティブな購入動機が増え、利用する機会も多くなる。〈一方、お惣菜を利用しない人にみられる『手作り』を重視する気持ちは、今後も残り続ける。〉

今後は「価格」だけでなく「こだわり」を重視し、それぞれのニーズに合わせ食用油を選択することが増えると考えられる。また、調理・片付けが簡単になるような商品・ツールをうまく活用するなど、限られた時間で楽しんで行う家事スタイルが益々増加していくだろう。

調査概要

調 査 対 象：全国 20-50代 既婚女性
 サンプル数：479（有職主婦：239 専業主婦：232 その他：7）
 調 査 方 法：郵送調査
 使 用 データ：調査回答者の年代構成を、日本の実年代構成にあわせるために母集団拡大集計を実施。
 レポートに使用するデータは母集団拡大集計後のデータを使用。
 実 施 時 期：2006年10月19日(木)～10月30日(月)

日清オイリオグループ株式会社

■お問合せ先
 生活科学研究室

<http://www.nisshin-oillio.com>

〒104-8285 東京都中央区新川1-23-1 TEL.03-3206-5218



古紙配合率100%再生紙を使用しています。



この報告書は、環境に配慮し、古紙配合率100%の再生紙を使用しています。またインキは、揮発性有機化合物を含まない大豆油のNon-VOCインキを使用しています。